

高知県内における渋滞多発箇所のアンケート結果について

～道路利用者・交通事業者へ実施したアンケート調査の結果を報告します～

現在、高知県内においては、朝夕の通勤時間帯はもとより、慢性的に交通渋滞が発生している箇所があります。高知県渋滞対策協議会^(注)では、今年度、道路の利用環境の改善等の観点から渋滞の解消若しくは緩和を目的とする対策を検討するため、混雑多発箇所の特定を進めているところです。

混雑多発箇所の特定にあたり、道路利用者・交通事業者の皆様にご協力頂き実施したアンケート調査の結果がとりまとまりましたので、概要をご報告いたします。

なお、今後は本アンケート結果をもとに混雑多発箇所を特定し、箇所別の対策を決定したいと考えております。

◇実施期間 : 平成21年11月5日(木)～平成21年11月13日(金)

◇有効回答 : 1,330人(高知県在住の方)〔道路利用者:1,321人、交通事業者9人〕

◇アンケート結果 : 別添のとおり

(注) 高知県渋滞対策協議会

高知県内における交通渋滞を解消し、円滑な交通流を確保するため、施設整備計画及び輸送効率の向上や、交通需要の時間的平準化等の交通需要マネジメント施策及び、公共交通機関の再編成等のマルチモーダル施策を併せて行い、公表するとともに渋滞対策を推進する組織

◇協議会の構成員

- ・ 国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所、高知河川国道事務所、中村河川国道事務所
- ・ 国土交通省四国運輸局高知運輸支局
- ・ 高知県土木部都市計画課、道路課
- ・ 高知県警察本部交通規制課、交通指導課
- ・ 高知市建設下水道部道路建設課、都市整備部都市計画課
- ・ 須崎市建設課
- ・ 四万十市建設課
- ・ 西日本高速道路(株)四国支社高知高速道路事務所

平成22年 2月25日

高知県渋滞対策協議会

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組に関連します

<問い合わせ先>

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 【TEL: 088-884-0359 (代表)】

副所長 (改築) こうの いちろう 河野 一郎 (内線 204)

○計 画 課 長 なかがわ としまさ 中川 敏正 (内線 261)

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所 【TEL: 088-833-0111 (代表)】

○工 務 第 二 課 長 くろいわ しげまさ 黒岩 重政 (内線 411)

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 【TEL: 0880-34-7301 (代表)】

○調 査 課 長 もりもと えいじ 森本 英二 (内線 451)

○ : 主な問い合わせ先

客観データ(VICSデータ等)に基づく

混雑多発箇所でもっとも混雑していると感じる箇所は**石立交差点**

混雑多発箇所以外でもっとも混雑していると感じる箇所は**下田交差点**

○アンケート回答数: 1330名

○混雑していると感じる交差点

- ・客観データ(VICSデータ等)に基づく混雑多発箇所72箇所から、道路利用者からもっとも渋滞していると思われる交差点は「**石立交差点**」(高知市)
- ・客観データ(VICSデータ等)に基づく混雑多発箇所72箇所以外で、最も渋滞していると感じの多かった箇所は「**下田交差点**」(四万十市)

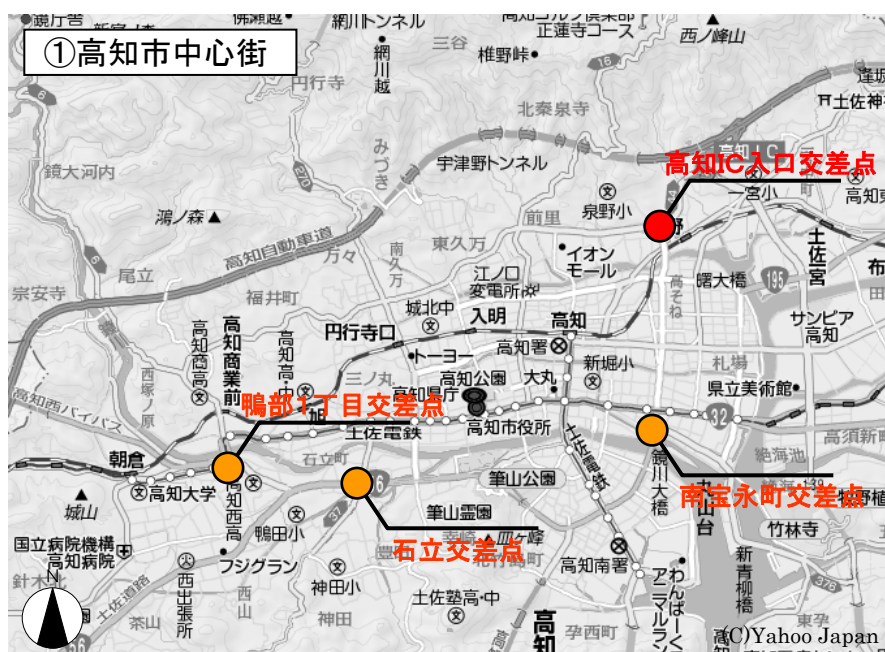
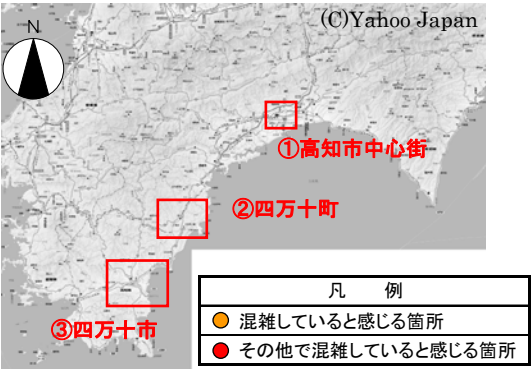
注)利用者webアンケートの結果は、当該箇所の交通量が多ければ回答数も多くなると考えるため、交通量あたりの回答数(=回答数/H17センサス交通量)により評価した。

道路利用者が混雑していると感じる箇所(72箇所中)

第1位	石立交差点	高知市	国道56号
第2位	南宝永町交差点	高知市	国道56号
第3位	鴨部1丁目交差点	高知市	国道33号

道路利用者がその場で混雑していると感じる箇所(72箇所以外)

第1位	下田交差点	四万十市	国道56号
第2位	古市町交差点	四万十町	国道56号
第3位	高知IC入口交差点	高知市	県道44号



混雑多発箇所に関するアンケート調査の結果

1. Webアンケート調査の結果

<属性>

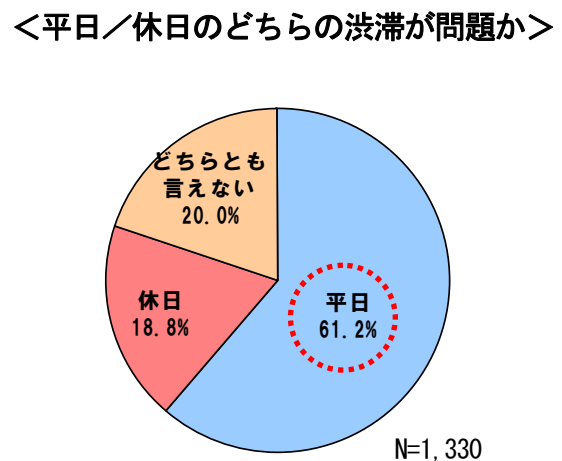
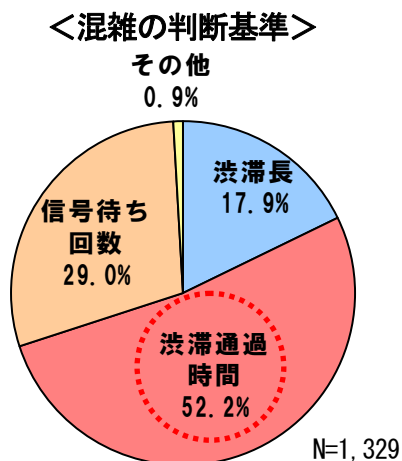
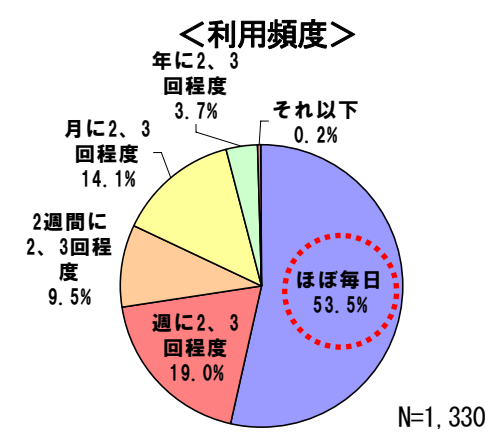
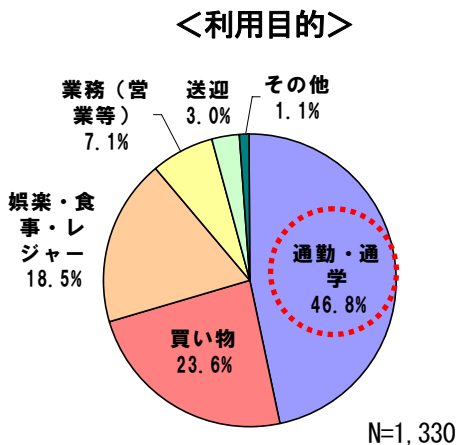
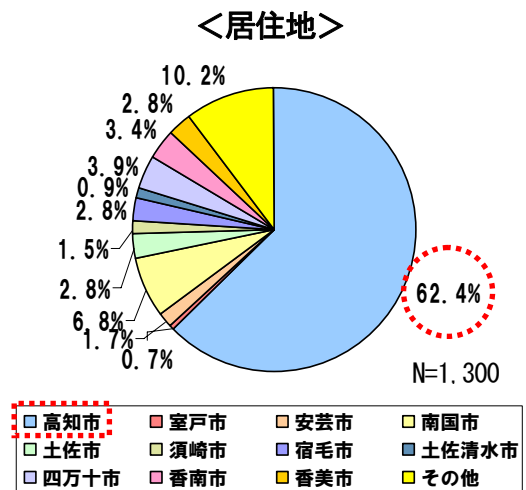
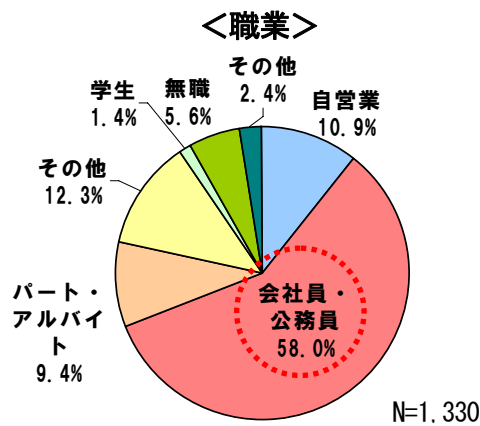
- ・ 職業は「会社員・公務員」が最も多く、6割近くを占めている。
- ・ 居住地は「高知市」が最も多く、6割以上を占めている。

<自動車利用状況>

- ・ 利用目的は「通勤・通学」が最も多く半数近くを占めている。次いで「買い物」「娯楽・食事・レジャー」が多く、それぞれ2割前後を占めている。
- ・ 利用頻度は「ほぼ毎日」が多く、半数以上を占めている。

<渋滞指標の判断基準>

- ・ 混雑の判断基準としては「渋滞通過時間」をあげる回答が多く、半数以上を占めている。
- ・ 平日と休日のどちらの渋滞を問題であると感じるかとの設問では「平日」との回答が多く、ほぼ6割を占めている。

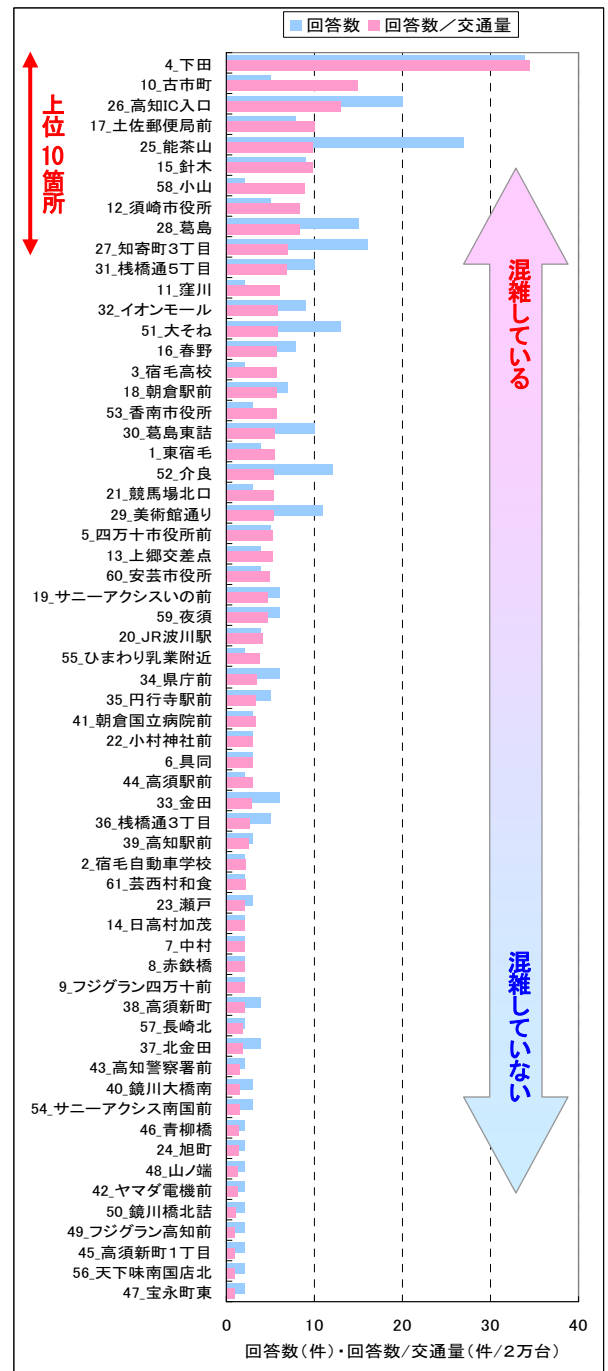
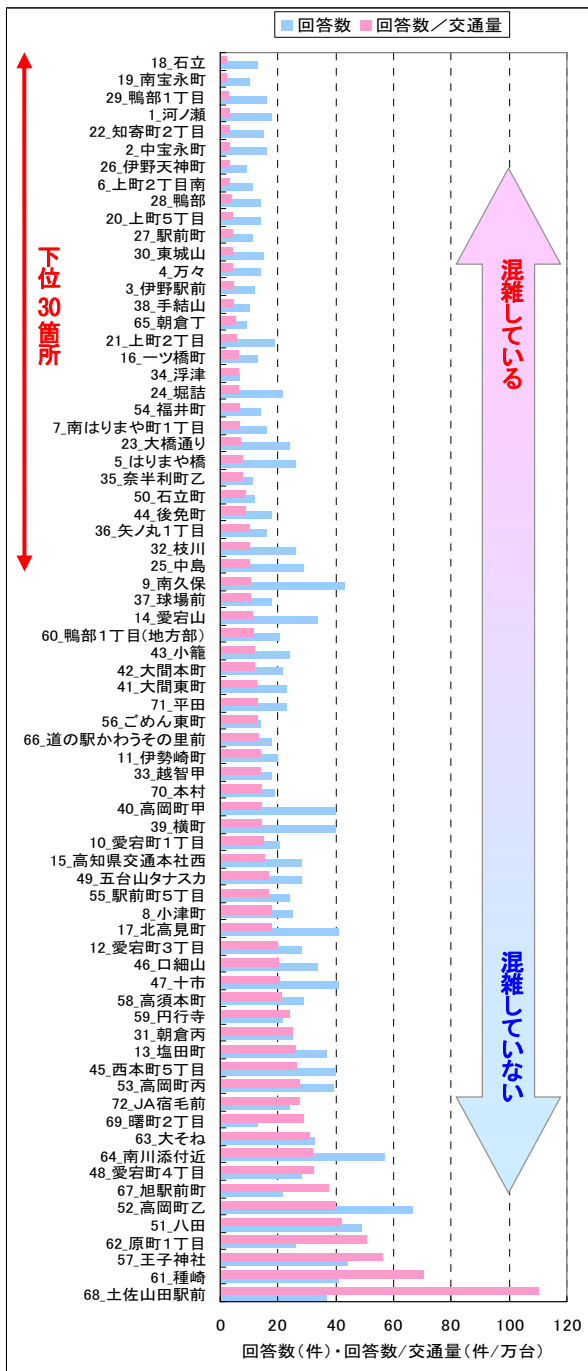


2. 混雑箇所：混雑していないと感じる箇所・混雑していると感じる箇所

- 客観データ（VICS データ）に基づく混雑多発箇所のうち混雑していないと感じる箇所については、土佐山田駅前交差点、種崎交差点などが混雑していないと感じる交差点であり、石立交差点、南宝永町交差点などが混雑していると感じる交差点であった。
- 客観データ（VICS データ）に基づく混雑多発箇所以外で混雑していると感じる箇所については、下田交差点、古市町交差点などが混雑していると感じる交差点であった。

注) Web アンケートの結果は、当該箇所の交通量が多ければ回答数も多くなると考えられるため、交通量あたりの回答数 (=回答数/H17 センサス交通量) により評価した。

<混雑多発箇所で混雑していないと感じる箇所> <混雑多発箇所以外で混雑していると感じる箇所>



－混雑多発箇所の抽出方法について－

高知県渋滞対策協議会では、平均速度が20km/h以下の箇所を混雑と定義し、決められた時間帯の中で50%以上混雑している箇所を混雑多発箇所として抽出しております。

混雑の指標には混雑発生時間、旅行速度、渋滞損失時間を用いており、判定にはVICS情報とプローブ、H17センサス交通量を使用しております。

指標	判定基準	
混雑発生時間 (VICS情報)	平日	7時～10時、10時～13時、13時～16時、16時～19時の3時間帯の中で90分以上混雑している箇所
	休日	7時～19時の昼間12時間の中で360分以上混雑している箇所
旅行速度 (プローブ)	平日	7時～10時、10時～13時、13時～16時、16時～19時の3時間帯の内2時間で旅行速度が20km/h以下の箇所
	休日	7時～19時の昼間12時間帯の内360分で旅行速度が20km/h以下の箇所
渋滞損失時間 (プローブ・H17センサス)	平日・休日	年間の渋滞損失時間が30,000人時間/km以上の箇所 ※30,000人時間/km: 昼間12h交通量の50%が平均速度20km/h以下で走行すると仮定した試算値

※ VICSとは:

(財) 道路交通情報通信システムセンター (VICSセンター) で編集、処理された渋滞や交通規制などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に文字・図形で表示する情報通信システム。

大半の高速道路と都市圏の一般道路を対象に、渋滞・工事等の情報を提供するほか、駐車場の混雑状況などを表示する機能も備える。(VICS情報は24時間365日提供)

※ プローブとは:

車両をセンサーとしてとらえ、GPSにより走行速度情報、位置情報等を収集することにより、交通流動等の道路交通情報を生成するシステム

※ H17センサスとは:

H17年度に全国的に実施された交通量調査。

※ 渋滞損失時間とは:

基準となる旅行時間(基準旅行時間)から実際にかかった旅行時間の遅れ時間を渋滞損失時間という。よって、「基準旅行時間」から少しでも余分に時間がかかれば、「渋滞損失時間」は発生することとなる。